

## 「施策」総括票

施策展開	1-(5)-ア	文化資源を活用したまちづくり	
施策	②地域文化を活用したまちづくりの促進		55頁
対応する 主な課題	<p>○文化資源は人々を魅了し惹きつける力を持っているが、こうした文化資源の持つ様々な価値や魅力に地域の人々が気づかないことも少なからずあるため、地域外との交流を通じて地域文化の掘り起こしを図っていく必要がある。</p> <p>○沖縄県内では、一部市町村においてエイサーや地域の食文化を活用した地域づくりが進められているが、さらなる地域活性化を目指し、地域の個性豊かな文化資源を取り入れたまちづくりの取組はこれからの課題となっている。</p>		
関係部等	文化観光スポーツ部、土木建築部		

### I 主な取組の推進状況 (Plan・Do)

(単位:千円)

平成24年度			
	主な取組	決算見込額	推進状況
		活動概要	
1	沖縄文化活性化・創造発信支援事業	76,661	<p style="text-align: center;">やや遅れ</p> <p>○県内の団体等が行う、文化資源を活用した取組やアートマネジメント(芸術文化と鑑賞者を経済的に結びつける機能・連係システム)を含む広く沖縄文化の継承者の育成などに対する費用を補助。加えて、PDCAサイクルによる事業評価システムを導入し、補助事業の成果の充実及び効果的な支援を図り、「沖縄版アーツカウンシル」のあるべき姿を構築。平成24年度は執行に着手したのが8月と遅かったため、関係団体への事業内容の周知が足りず、採択条件を満たす団体が少なく、やや遅れとなった(計画値1件、実績0件)が、平成25年度は年度当初からの着手となるため、計画通り推進する。(1)</p> <p><small>※アーツカウンシル: 政府や自治体から一定の距離を置く専門機関として、助成金の配分や文化政策の実施を担う。欧米諸国や韓国、シンガポールなどに設置され、日本では芸術評議会などと訳される。</small></p>

様式2(施策)

2	都市公園における風景づくり	1,159,256	やや遅れ	○沖縄らしい文化的な歴史資産、風土および自然と共生する都市公園造りに向けて、文化財発掘調査、園路、遊戯施設等の公園施設の整備を行ったが、用地取得・補償等が遅れていることもあり、やや遅れとなった。(2)
---	---------------	-----------	------	--

II 成果指標の達成状況 (Do)

(1) 成果指標

成果指標名		基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
1	伝統行事の伝承・復元等に関する事業を行う団体への助成件数(累計)	0件	0件	15件	-	-
	状況説明	文化事業として評価できるか、もしくは今後の沖縄県の文化に寄与するかという視点で事業採択基準を定めたが、基準を満たす団体がなく、採択は皆無となった。今後は、特定提案型の公募を取り入れるなど、助成件数の増に向けた取組を強化する。				
成果指標名		基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
2	歴史景観と調和する都市公園の供用面積	32.0ha (22年度)	32.0ha (23年度)	58.9ha	-	-
	状況説明	公園事業の事業進捗を図るため、早期の公園事業用地取得に努め、事業を推進しているところであるが、地権者等の協力が得られないことや、文化的に貴重な財産であるため、それに必要な発掘調査等を慎重に実施しながら進めていることなどから、供用面積拡大につながっていないが、引き続き事業推進を図る。				

(2) 参考データ

参考データ名	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
-	-	-	-	-	-

## 様式2(施策)

### Ⅲ 内部要因の分析 (Check)

- ・沖縄文化活性化・創造発信支援事業の広報活動や周知が不足していたことから、当事業を円滑に推進するためには、文化団体等に当事業の理解を深めてもらう必要がある。
- ・沖縄版アーツカウンシルについては、独自に行ったPDCAにより、事業採択基準や実施方法等の課題が顕著になった。
- ・公園整備は公園用地を確保しなければ実施できないが、用地取得や物件補償等について地権者の協力が得れないため、計画どおりに進捗しておらず、効率的かつ効果的な公園整備ができてない状況である。このため、地権者等へ事業の必要性等の理解が得られるように地元自治会等の関係者とも協力しながら取り組んでいく必要がある。

### Ⅳ 外部環境の分析 (Check)

- ・沖縄文化活性化・創造発信支援事業の実施(申請含む)の際の文化関係団体の事務処理能力に格差がある。
- ・公園整備の中には文化的に貴重な資産を有している箇所もあるため、慎重に発掘調査等も実施しながら公園整備を進めていく必要がある。

### Ⅴ 施策の推進戦略案 (Action)

- ・文化団体等に対する沖縄文化活性化・創造発信支援事業の周知については、マスメディア及び関係団体への広報を通じて事業内容を周知し、事業内容の浸透を図るほか、公募の際に、説明会を実施し、理解を深めてもらう。
- ・沖縄文化活性化・創造発信支援事業への申請を希望する文化関係団体に対しては、採択・不採択いずれの結果に関わらず、事務手続きについて、申請時からフォローを行う。
- ・採択候補を精査したうえで審議にかけるとともに、不採択の基準について明確化するなど、採択審査・支援のフローを見直す。
- ・公園整備においては、地元自治会など関係者の協力を得ながら、地権者や所有者などとの交渉を円滑に進めることにより、用地取得等の遅れを挽回する。また、発掘調査等を担当する関係機関と連携を密にすることにより情報を共有し、文化的に貴重な遺産に対し適切な対応を図りながら、事業を推進していく。